



图书基本信息



内容概要

星野哲郎という、たぐい稀な作詞家がいる。
彼は約四十五年間に四千曲をはるかに越える作詞をしている。
その詩を唄った歌手は数えることができないくらいだ。
例えば美空ひばり、島倉千代子、北島三郎、畠山みどり、水前寺清子、都はるみ、小林旭もそうだし、鳥羽一郎や大月みやこもいる(順不同)。
つまり、戦後の歌謡史を彩った歌手の歌は、ほとんど星野の作詞によるといってもいいだろう。
その詩の源泉はどこにあるのだろうか。
言葉には、それが湧き出してくる泉があるはずだ。
その泉を訪ねてルポしたのが本書である。
それはまた、日本人の魂を打つ演歌の心は何なのかを訪ねる旅でもある。

約45年間に4000曲をはるかに超える作詞をした星野哲郎。
戦後の歌謡史を彩った歌手の歌は、ほとんど彼の作詞である。
その詩の源泉は一体どこにあるのか。
その泉を訪ねてルポをする。



版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>